



西尾 隆久

問障がい者・高齢者のみの世帯について。世帯数・人数の把握は。

答障がい者のみの世帯、人数は把握しているのは、土岐市避難行動支援者名簿で、6月6日時点における障がいをお持ちの方で台帳に登録されている世帯数は797世帯、849人。65歳以上の高齢者世帯は1,010世帯、1,027人です。

問様々な案内文書、通知書の対応への支援について。

答包括的な考え方として、分かりやすい、理解しやすい文章づくりに心がけ、文字の書体、大きさ、配置など、読みやすい工夫、専門用語が多くなりがちな文章についてはなるべく分かりやすい文章を使うよう努めている。文章の考え方で公用文書例に関する規定を定めており、文章は簡明平易で正確に表現するよう努めること、障がいのある方への職員対応マニュアルを作り、その中で行政情報の提供として印刷物、広報、その他パンフレット・チラシ等につきまして情報を分かりやすく伝えるた

めの留意点を定め、取り組んでいる。
問稚児岩周辺の整備について、稚児岩に対する認識は。

答昭和31年の指定は市政後初めての文化財の指定で、稚児岩を含め16の文化財が指定されており、貴重な文化財と認識している。

問新たな説明看板について。

答現在、稚児岩だけでなく、ほかの文化財等の看板も含めて新しい現代的な看板というものも考えていきたいと考えている。

問本市出身の俳優、故田中邦衛さんについて、何か企画はできないのか。

答故田中邦衛さんに関する企画については、例えば回顧展などを開催しようということが考えられると思います。ただ、展示物として利用できる市所蔵の物品といったものを市は持ち合わせていない。よってご遺族や映画製作会社などから借用が必要となります。これらの関係者のご意向や借用期間、費用などの条件が整えば、新型コロナウイルス感染状況などを勘案しつつ検討してまいりたい。表彰については、平成11年に功労賞を授与させていただいていて、今後については、市民の機運の高まりなどを考慮した上で検討すべきものではないかと考えております。

《第3回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



小関 篤司

◆コロナ禍の水道料金の市民負担軽減について

問家庭の水道基本料金のみ無料化などの負担軽減策の考えはあるか。

答(市長) 水道・下水は支払猶予制度で対応。一律全市民減免措置はやるべきではないと思っております。

◆国民健康保険について

問令和6年から段階的にせよ、保険料統一に移行された場合に保険料はどうなるか。

答圏域化に向かって、土岐市の保険料は上昇が想定されると考えます。

問保険料が上がるとしたら、統一化させないスタンスで会議の場で話をしなくてはいけないのではないか。

答県が運営主体という認識で、県内の市町村の同意が要すると思いますが、土岐市が反対し、他が賛成した場合にどうなるか今は分かりません。

●会議でしっかりとした意見、立場で市民に保険料の大きな負担を強いることがないように願います。

◆放課後教室と子育て支援策について



放課後教室の様子

問土岐市の放課後教室の運営時間と近隣市の放課後の居場所はどこか。

答土岐市は放課後教室で18時まで、学童保育では多治見市は17時まで、平日のみ19時まで延長可能。瑞浪市は平日19時、土曜が18時又は19時。中津川と恵那市は平日・土日とも18時半又は19時です。

問保護者の働きやすい環境づくりについて、放課後教室の時間延長などの考えはないか。

答(教育長) 就労支援の観点から延長の声を頂いています。時代の変化のなかで捉え直していく必要がある。制度を検証し、教育だけでなく、子育ての支援という観点から横断的な意見交流を行っています。保護者の方が何を望んでいるのかアンケート等を踏まえながら、時間延長の可否を含めた検討に入りました。



● 小栗 恒雄 ●

◆感染対策とワクチンの見通しは
 ①デルタ株等の感染力の強い変異株
 ウイルスの土岐市内での発生状況は
 把握されておられますか。

②市内での変異株ウイルスの感染状況に関する情報は持ち合わせておりません。変異株ウイルスの感染抑制には、現状ワクチン接種が最も効果的と言われていますので、高齢者への接種に一定のめどが立ちました。現在、一日も早く一般接種に取りかきたいと考えております。

③変異株は把握されておられないとのことですが、感染予防の観点から非常に重要なことと考えますが、あまり把握する必要はありませんか。

④必要がないと言うことではないと思います。しかし、今の変異株の動向に当然視野に入れてまいらないといけないですし、それに対する感染対策は取っていかねばならないと思います。県から報告を受けている数字は、各市町村における陽性者の数ということで、日々の数です。増減について把握していますが、

変異株の動向というところの数字についてはなかなか把握ができないことで、相対的に新型コロナウイルスの陽性者の動向数を確認しながら対応していくと考えております。変異株による種別の感染者数の情報は、特に持ち合わせておりません。

⑤身近な土岐市のコロナ病床の稼働率について、併せて医療体制が切迫している状態が発生しているのか、医療体制の対応をお聞きます。

⑥新型コロナウイルス陽性者が発生した段階で、県の保健所が主導となり病床確保、それから入院措置を行っておりますので、感染者数の数、あるいは重症者数の状況を見ますと逼迫している状況ではありません。

⑦高齢者から若者まで幅広い接種が必要ですが、今後のワクチンの必要量は調達できるでしょうか。

⑧高齢者接種に係るワクチンの調達につきましては、計画的に国から配給されておまして、不足することはない状況です。今後、一般接種に対する配給は、6月14日付で第9クールのワクチン配給分の通達が、国のほうからありましたので、一定程度は進めていけるものと考えています。その後の一般接種配分については、まだ勿論この数量では足りないもので、今後の見通しについてはまだちょっと不明なところもあります。

《第3回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 後藤 正樹 ●

◆成年後見制度利用促進について
 ①成年後見制度の利用実績と、市長申立ての状況について伺いたい。

②本年3月末現在で、東濃成年後見センターが後見人等を139件受任している。過去3年間の受任件数と市長申立て件数の合計は、それぞれ32件と15件である。

③当該制度利用促進に係る本市基本計画の策定状況について伺いたい。

④令和4年度に策定を予定している第4期土岐市地域福祉計画と一体的に策定する予定である。

⑤中核機関の設置・運営形態と地域連携ネットワークについて伺いたい。

⑥東濃成年後見センターに中核機関としての機能を担うものとして併設された「東濃権利擁護センター」に業務委託をしている。また、本人と後見人を支えるチームによる対応と、地域における協議会等の体制づくりの二つを基本としながら、地域連携ネットワークの構築を進めている。

●体制整備に努めると同時に、行政としての責任ある関与を強め、これ

まで以上に、権利擁護が必要な人の情報を適時把握し、早期の段階での支援に繋げることに努めて頂きたい。

◆保育人材不足対策について

①保育人材不足の現状に関する加藤市長の所感を伺いたい。

②全国的に深刻な問題であるという側面もあるが、本市は14の公立園を運営しており、保育の量と質を確保していく責任がある。保育士確保のための地道な努力に加え、職場環境の改善にも努めていく必要がある。

③民間保育士の給与水準の底上げが進められている中、本市の保育士の採用実績は右下がり推移している。本市では、大学卒の保育士の初任給が、他の職種の初任給よりも低いが、近隣自治体の初任給と比べて見劣りしないようにするためにも、他職種の大学卒と同額にすべきではないか。

④これまで保育士という資格による募集を行ってきた。募集・試験区分の見直しが必要になるため、この場で回答することはできないが、少し研究をさせてもらいたい。

●保育士がその専門性を存分に発揮するには、目の前にいる子どもたちと余裕をもって向き合うことのできる環境の整備が不可欠である。働きやすい環境を整備することで、施設に通う子どもたちの安全と健やかな成長をしっかりと確保して頂きたい。